

「お試しデポ」募集要項

(趣旨)

コンテナラウンドユースを推進するためには、輸入荷主から輸出荷主への空コンテナをよりスムーズに受け渡すことができるインランドデポが有効であるといわれています。その効果を検証するため、民間事業者が運営するインランドデポを「お試しデポ」という名称で公募します。平成 27 年度埼玉県コンテナラウンドユース社会実験とあわせ、より多くの事業者がコンテナラウンドユースを経験することで、その普及につなげていくことを目的とします。

なお、「お試しデポ」は、県の「効率的な海上コンテナ物流の在り方検討業務」の一環として実施します。

(用語の定義)

この要項における用語の定義は、次の各号によるものとします。

- 一 コンテナラウンドユース：輸入で使ったコンテナを空のまま港に戻さず、輸出用のコンテナとして往復で利用すること。
- 二 インランドコンテナデポ：内陸のコンテナ一時保管場所。
- 三 オンシャーシ保管：コンテナをシャーシに乗せたまま保管すること。

(募集場所)

- 1 埼玉県内全域とし、応募場所は複数でも可とします。
- 2 候補地は、周辺環境に影響が少ない敷地で、下記にあてはまるものとします。
 - 一 埼玉県コンテナラウンドユース推進協議会構成員の敷地
 - 二 陸運事業者のシャーシプール
 - 三 輸出荷主の敷地
 - 四 その他「お試しデポ」として適すると認められる敷地

(運用期間)

- 1 平成 27 年 8 月 1 日から平成 28 年 1 月 31 日までとします。
- 2 「お試しデポ」設置者が希望する場合は、お試しデポの継続運用が可能です。

(「お試しデポ」設置者の役割)

「お試しデポ」設置者の役割は、以下のとおりです。

- 一 コンテナラウンドユース共同体登録制度要綱（別紙 1 参照）に基づき、共同体登録をして運営します。
- 二 各種法令に基づき運営します。

三 輸出で使う予定が決まっている空コンテナのみを「お試しデポ」へ搬入してください。

四 コンテナが「お試しデポ」に到着してから、原則5日以内にコンテナラウンドユースへ転用します。

五 コンテナが「お試しデポ」に搬入される時、ダメージチェックを行います。目視で明らかな穴あき・歪み・凹みがあった場合のコンテナは、受け取りません。

六 コンテナラウンドユースに関する保険に加入していることとします。

七 平成27年度コンテナラウンドユース社会実験を通して「お試しデポ」の利用状況を県へ報告します。

八 原則、空コンテナはオンシャーシー保管としてください。

九 「お試しデポ」に利用料を設定する場合は、共同体間で調整します。

(埼玉県の役割)

- 1 お試しデポの利用状況をPRし、コンテナラウンドユースにおけるインランドデポの効果検証を行います。
- 2 コンテナラウンドユースに関するマッチングは必要に応じて県が斡旋しますが、金銭に関する調整は行いません。
- 3 その他、県はコンテナラウンドユースに関する船会社との調整を行います。

(「お試しデポ」の応募方法)

平成27年7月6日～平成27年7月29日までに、別紙2応募様式にてメールまたはFAXでお送りください。

(「お試しデポ」決定通知送付とホームページによる公表)

決定通知送付は平成27年7月31日、ホームページによる公表は平成27年8月3日とします。

(窓口・問い合わせ先)

埼玉県都市整備部都市計画課 総務・企画担当

〒330-9301

埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1 第2庁舎2階

電話 048-830-5337 (直通)

FAX 048-830-4881

電子メール a5330-07@pref.saitama.lg.jp (企画担当 CRU 事務局代表)

(別紙2)

応募先 埼玉県 都市計画課 総務・企画担当 田中、酒井

E-mail a5330-07@pref.saitama.lg.jp

応募期限 平成27年7月29日(水)

「お試しデポ」設置応募書

デポの名称	
住 所	
敷地面積	
運営主体会社名	
業 種	陸運事業者 輸出荷主 輸入荷主 その他
主の接道幅員	

上記のとおり応募します。

平成27年 月 日

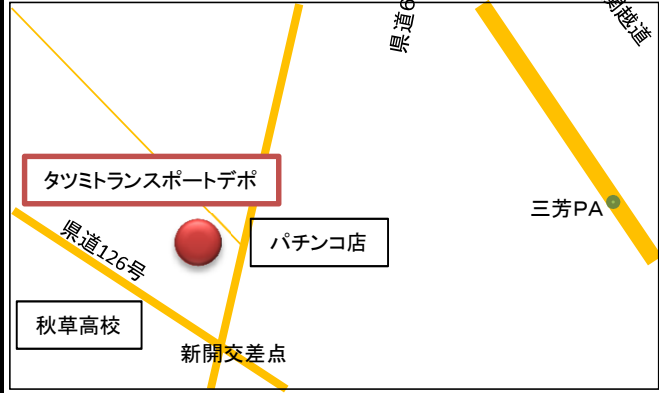
会 社 名 _____
連絡担当者氏名 _____
電 話 _____

登録番号	No.001	お試しデポ 名称	タツミトランスポートデポ(案)
------	--------	----------	-----------------

【位置図】



【所在地】
 狭山市上赤坂602-36
 タツミトランスポート(有) 敷地内



【デポ概要】

- ・面積

5000	m ²
------	----------------
- ・コンテナ受入可能数

15	本
----	---
- ・受入可能コンテナ オンシャーシのみ
コンテナオン・オフ可
どちらでも可
- ・管理者 タツミトランスポート(有)

【共同体メンバー】

陸運事業
 輸入荷主
 輸出荷主

調整中

【契約船社】

調整中

【運用ルール】

調整中